

「ヒトケミカル」が ミトコンドリアを活性化 「日本人特有の体质」改善にも効果

コサナ

コサナ(東京都中央区)は10月23日、「第14回健康と美容を科学する

□

03-62262115



コサナのセミナーを開催。今回は「ミトコンドリアとヒトケミカル」をテーマに、同社の寺尾啓二社長【写真】が最新の研究成果を報告した。

寺尾氏は、日本人の平均寿命が世界最長である一方、要介護となるリスクは米国の15倍にも及ぶとのデータを紹介。その要因として、日本人の「ヒトケミカル不足」を指摘。「ヒトケミカル」とは、ヒトの体内でエネルギーを產生するミトコンドリアの働きを助ける栄養成分のことだ。R体 α -リポ酸、COQ10、L-カルニチンなどを指す。

寺尾氏は、炭水化物、脂質、炭水化物、ビタミン、ミネラルの5大栄養素に食物繊維、フィトケミカル(ポリフェノールなど植物由来の栄養成分)にヒトケミカルを加え「8大栄養素」と定義しその重要性を訴えた。CoQ10は脂溶性のため吸収効率が悪く、またR体 α -リポ酸は安定性が悪いという難点があるが、同社では γ -オリゴ糖で包摺することで、R体 α -リポ酸の安定性を高めるとともに、CoQ10の水溶性を格段に高めることに成功。ヒトケミカルの効率的な摂取を可能とした。同時に、ヒトケミカルの摂取によって、「血管が脆い」「血液温度が低い」「消化力が弱い」「筋肉量が減りやすい」といった日本人特有の体质の改善にも効果があるとしている。

なお、次回のセミナーは12月4日、「今までも美しく健康を維持するための環状オリゴ糖」をテーマに行われる。